

【学校教育目標】 自ら学び、高めあい、よりよく生きようとするこどもの育成 (めざす学校像) ・児童が主体的、対話的に学び活動する学校 ・家庭、地域と協働してこどもたちを育む、地域とともにある学校 ・すべての教職員が働きがい、生きがいのある学校 (めざす子ども像) ・自ら学び、互いに繋がり合い高めあう子 ・自分も人も、大切にする子 (めざす教師像) ・役割とやりがいをもち、組織的に対応できる教師 ・自己研鑽に努め、確かな指導力と人間性で、こどものよさを引き出す教師	(1) こども同士がつながり、規律があり安心できる仲間づくりをする。	①非認知能力の育成	研修・生指・人権の担当者による取組の協議 心に響くほめ方・叱り方の探究	
		②正しい児童理解と適切な対応	発達障がい、愛着障がいの理解と対応の研修 SSTを日常的に取り入れる。	
		③不登校を生まない学校づくり	人権・生指・研修・支援のすべての面から 不登校傾向児童のアセスメント	
		④規範意識の育成	教職員の一貫した日常的指導 生指トラブルへの適切な指導と組織的対応 教職員と保護者の徹底したいじめを許さない意識	
		⑤人権教育の推進	人権尊重のために行動できる力を育成する。 教職員の人権感覚を磨く。	
	(2) 学力向上をめざし、主体的・対話的に学ぶ力を育成する授業を創造する。	①授業の改善	子どもが主体的・対話的に学び続ける授業 全学年で積み上げ、国・県平均より2ポイント上の持続	
		②教科部会を生かした研修体制	学びがつながり、積み上がる研修体制 系統的、教科横断的なカリキュラムの構築	
		③家庭学習の充実	基礎学力の定着 計画的に学習に向かう力をつける自主学习	
		④適切な支援	必要な支援の明確化と共有 特別支援学級児童と外国籍児童を意識した指導の工夫	
		⑤ICTの有効活用	個別最適で協働的に学ぶための活用方法の探究 家庭学習と授業のリンク	
		⑥読書による基礎体力づくり	読書意欲を高める取り組みと読書環境の工夫 読書をする習慣化	
	(3) 地域・家庭とともに教育活動を進める。	①信頼関係の確立	迅速で丁寧な対応 記録をとり、ファイリングするシステムの確立 危機・健康・安全管理の徹底	
		②学校運営協議会との協働	ボランティアやゲストティチャーとしての地域人材の活用 地域への愛着心を育む地域学習	
	(4) 教職員が向上心をもって役割を担い、組織的に連携する。	①校務分掌の平準化	一人一役、主な分掌を担う。 三委員会のサポートによる若手の育成	
		②組織力向上	学年団、担当者、管理職への報告・連絡・相談の重視 複数で学年全体を見る教科担任制 PDCAサイクル	
		③企画委員会の充実	ミドルリーダーの課題解決能力の育成	
		④コンプライアンス意識の向上	不祥事を自分事として捉える。 職場で不祥事を防ぐ意識	定時退校日 学校全体で設定 月1日 学年で設定 月1日 実施率90%以上 時間外労働時間 月45時間超 0人 年360時間超 0人 年間休暇取得 22日以上 会議時間 60分以内 達成率80%以上
		⑤ワークライフバランス	総勤務時間の縮減 行事や取り組みの見極めと見直し 自分磨きとリフレッシュの時間を大切にする。	